

しなののうた

君はなぜ笑顔なのかと病む夫の骨の髄まで声ひびきたり

l.MI

杉田小百合

しなののうた

本代の借金ばかり背負わされ幼子連れて婚家を追わる

杉田小百合



しなののうた

三歳の息子は父の死をわからぬか葬儀の庭でぶらんこ漕げり



杉田小百合

しなののうた

幾多ある本の絆か親友の支えのありて今われのある

杉田小百合



しなののうた

笑顔さえ憎きに変わる夫と見て不条理つよく胸を突き射す

l.MI

杉田小百合